

市長の深い話

谷が



深谷市長 小島 進

まちのにぎわい創出

人口減少・超高齢社会。今日の日本が直面している課題です。このような社会を迎える上で、多くのかたが生活しやすいまちづくり、そして、にぎわいのあるまちづくりが必要です。

現在、深谷市では、中央土地区画整理事業や中心市街地を会場としたイベントを開催して、まちのにぎわいを創り出す取り組みを行っています。

わたしは、これらの事業を進めつつ、まちのにぎわいを創り出すための新たな方策を考えました。それが『深谷まるごと博覧会』です。

深谷まるごと博覧会は、県のふるさと創造資金の対象事業として採択され、1,000万円の助成が決まりました。これは、深谷まるごと博覧会が自立を目指す自治体の主体的かつ計画的な取り組みであると認められた成果によるものです。

さて、深谷には、深谷ねぎ・渋沢栄一翁・ふっかちゃんなど、たくさんの魅力がありますが、まだまだ気づいていない魅力もたくさんあるはずです。そんな深谷の魅力のひとつも多く発見し、それを全国に発信することで、深谷に人が集い、集った人々が触れ合い、まちのにぎわいを創り出せる。そう考えています。

そのためには、行政の力だけではどうすることもできないことがあるのは事実です。市民の皆さんの協力が不可欠です。市民の皆さんと行政とが手をとりあっていくことが必要です。

この深谷まるごと博覧会が、まちのにぎわいを創り出すきっかけとなることを期待しています。

ありがとうの手紙



最優秀賞
一般の部
父親へ

東京成徳大学深谷高校3年（現大学1年）池田享平さん

いつも当たり前だと思っていたことが間違いだった。父子家庭として、兄貴と俺の二人を男手一つで育ててくれたことは感謝の気持ちでいっぱいなのと尊敬の気持ちでいます。

夏休みに父親の手伝いをしていると、仕事から帰ってきて家の事や、仕事のことを一から全てやっている姿は、父親と母さんが混ざったような、たくましさにあふれていました。この歳になってやっと凄さに気がつきました。今までありがとう。



みんなの声BOX

Q 乾電池や蛍光灯などの有害ごみは、いつ収集があるのか、どこに出せばよいのか、よくわかりません。教えてください。

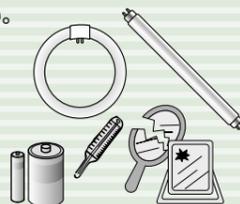
A 毎月第3金曜日、指定場所に出してください。

有害ごみには、乾電池、蛍光灯、温度計、体温計、使い捨てライター、鏡などがあります。

指定場所については、環境衛生課にお問い合わせください。

問い合わせ

環境衛生課
(☎585 - 2215)



危険業務従事者叙勲



上田英司氏
(上野台・71歳)
元 警視正



亀山茂夫氏
(伊勢方・65歳)
元 日本郵政公社職員



日野邦英氏
(新井・74歳)
現 (社)埼玉浄化槽協会理事長



田島一雄氏
(栄町・84歳)
元 深谷市議会議員

春の叙勲

■旭日双光章

〈地方自治功労〉

4月29日に、内閣府から、春の叙勲・危険業務従事者叙勲および春の褒章が発令されました。市内からは、多年にわたり各分野で活躍、貢献されたかたがたが受章の栄誉に輝かれました。

※年齢は、発令日を基準としています。

危険業務従事者叙勲



清水司朗氏
(上野台東・71歳)
元 埼玉県警視



新井和夫氏
(上柴町西・72歳)
元 埼玉県警部補



福島秀夫氏
(東方・61歳)
元 准空尉



染矢健二氏
(東方・61歳)
元 3等空尉

■瑞宝単光章

〈防衛功労〉



福島悦雄氏
(上野台・64歳)
現 (社)埼玉医師会理事



橋本公夫氏
(蓮沼・64歳)
元 深谷市消防司令

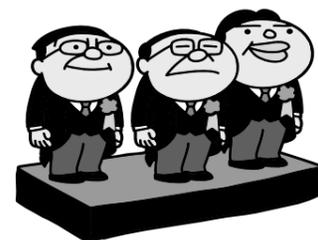
春の褒章

危険業務従事者叙勲

〈消防功労〉

■藍綬褒章

〈保健衛生功績〉



大人の風しん予防接種費用の一部を助成します

接種は任意です。希望されるかたは、効果や副作用などを医師とご相談の上、ご検討ください。

※接種後2か月間は妊娠を避けてください。

対象 平成2年4月1日以前生まれの市民で、次のいずれかに該当するかた

- ①妊娠を予定または希望している女性
- ②妊娠している女性の夫（内縁を含む）
- ③妊娠を予定または希望している女性の夫（内縁を含む）

※ただし、次のかたを除きます。

- 風しんにかかったことがあるかた
- 過去に風しんの予防接種を2回受けているかた
- 妊娠中または妊娠している可能性のあるかた
- 会社などほかで助成を受けられるかた

助成額 風しん単独予防接種、麻しん・風しん混合予防接種の接種費用（上限5,000円、1人1回限り）

助成対象期間 平成25年4月1日～9月30日（月末までに接種したもの）

申請方法 医療機関で予防接種を受けて接種費用を支払い後、10月31日（木）までに次の①～③を郵送、または①～④を直接問い合わせ先へ。後日、指定口座へ振り込みます。

- ①申請書兼請求書（市ホームページからダウンロード可）
- ②被接種者氏名・接種日・接種ワクチン名・支払額・接種医療機関がわかる書類（領収書、予防接種済証など）の原本
- ③振込口座が確認できるもの（預金通帳の写しなど）
- ④印鑑

※郵送の場合は、申請書兼請求書に押印もれのないようご注意ください。

問い合わせと申し込み 保健センター（☎575 - 1101）

岩崎弥太郎との対決

栄一の活躍をひそかに注目する人物がいました。一代三井財閥の基礎を築いた風雲児岩崎弥太郎です。

弥太郎は土佐藩郷士の家に生まれ、早くから神童の誉れが高く、安政元年（一八五四）には江戸へ出て、幕府儒官である安積良斎の門に学んでいます。慶応三年（一八六七）、土佐藩の実力者後藤象二郎に抜擢され、長崎で土佐の産物を販売する仕事に従事し頭角を現します。維新後は海運業に進出、明治政府の実力者である大久保利通や大隈重信とよしみを通じ、事業を飛躍的に増大させます。明治十年（一八七七）に勃発した西南戦争では、政府側の兵員や物資の輸送を一手に引き受け、巨万の富を築き、わが国海運業を独占



▲『岩崎弥太郎（1834 - 1885）』（渋沢史料館提供）栄一と同じく漢詩の才能にも恵まれていました。

する地位にまで上りました。明治十一年（一八七八）八月、この弥太郎から栄一に誘いがあり、両者は向島の料亭に会います。弥太郎は二人が組めばこの日本は思いのままだと栄一との提携を打診します。しかし、事業経営の目的を国利民福に置き、多くの人が恩恵を受ける合本主義を良しとする栄一と、才能のある人物が専制的に経営し利益を独占するところが事業経営の妙味があると考えた弥太郎との間には、大きな隔たりがありました。両者の主張は対立



©渋沢史料館

し、ついに物別れとなります。明治十六年（一八八三）一月、栄一は三井組の益田孝やいとこの喜作らと組んで共同運輸株式会社を開業。弥太郎率いる郵便汽船三菱会社の独占を打破すべく果敢に挑戦します。

両社の戦いは足かけ三年に及ぶ死闘となり、これを見かねた政府が仲介し、両社を合併させて出来たのが日本郵船株式会社です。明治十八年（一八八五）十月のことでした。これ以前に共同運輸の株のほとんどが弥太郎によって買い占められており、実質的には三菱側の勝利に終わりました。しかしこの戦いのさなか、弥太郎は体調を崩し、同年二月七日、享年五十二歳で波乱の生涯を閉じています。（文：新井慎二）

『益田孝』（1848 - 1938）

佐渡出身の元幕臣。三井物産を創立し、三井財閥の基礎を築きました。栄一とは長年にわたる盟友であり、両者が共同して東北地方の振興、中国（清国、後の中華民国）との交易、商業教育の振興に尽力しました。茶道の発展にも寄与し、美術品の収集家としても知られています。

物語の手引き

『合本主義』

『多くの人が協力し合って、より多くの人とその恩恵にあずかれるように』という考えです。

多くの人から資金を集めて事業展開を図る『株式会社制度』の普及を目指したものです。

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。また、年齢については、当時の通例に従い数え年の表記とします。



みんなに『参加』してほしい

深谷ててて編集局の人江さんは『てててプロジェクト』として、さまざまな事業に取り組んでいます。例えば、捨てるにはもったいない。でもただ売ってしまうのも味気ない。そんな思いとともに寄贈された古書を販売する『円の庭』は、「みんなの力を集めると何か面白いものができるのではないか」という人江さんの思いから始まりました。

そのきっかけとなったのは、息子で映画監督の悠さんが、たくさんエキストラと一緒に映画を作りあげていく姿でした。それを見た人江さんには『参加型』という言葉が浮かび、それが活動のキーワードとなるのです。

さんの人の手が加わり、大きく成長した『フカペディア』は、今年の全国広報コンクールの広報企画部門で見事入選を果たしました。人江さんの活動はこれに留まりません。今年4月には、『円の庭』の2階に寺子屋『人江塾』を開き、大人から子どもまでを対象とした個性的な講座を開講しています。『学』の形はいろいろあってもいい。大人と子どもとが関係なく、人間がどう生きるかを学べる場所にしたい。そんな思いが込められた学びの場で、人江さんの新たな『参加型』の試みは始まったばかりです。

キラリ 熱・中・時・間

～深谷ててて編集局 入江明さん～

その後、市民参加型のオンライン百科事典『フカペディア』の立ち上げに携わり、現在もサイト管理に参加しています。『フカペディア』は、深谷の情報を誰でも発信することができ、まさに『参加型』のプロジェクトです。今ではたく



▲5月18日に開講した入江塾講座『フランス・アラカルト』の様子

ふっかちゃんの日常から深谷が見えてくる

ふっか散歩

③ 道の駅おかべ編

友好都市の静岡県藤枝市の新茶キャンペーンに参加するため、道の駅おかべに行ってきたよ。藤枝茶娘さんと新茶PRをしたんだ。藤枝のお茶は、山の傾斜地で栽培されてるんだって。香りがいいから、ふっかちゃんも大好き。



◀藤枝市と友好都市なのは、もともと旧岡部町と静岡県志太郡岡部町が友好都市だったからなんだ。2つの町は、今は合併してそれぞれ深谷市と藤枝市になったけど、これからも仲良くするため、平成21年にあらためて友好都市になったんだって。



▶道の駅おかべには、深谷の名産漬物がいっぱい販売されていたよ。深谷は関東一の漬物どころだもんね。県内の漬物業者さんの半分くらいは深谷市に集中してるっていうし、300種類以上の漬物をつかってるなんてすごいよね。

ふっかちゃんのつぶやき



6月22日(土)に深谷ビッグタートルで『ふっかちゃんバースデーいちい FUKAYA2013』をやるよ！みんな来てねえ～！

【田の庭】七ツ梅酒造跡地内にあり、「一般社団法人まち通し深谷が運営している」
【フカペディア】 http://fukapedia.com